

小泉八雲 人気教師だった理由

怪談「耳なし芳一」で有名な小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、帝国大学(現・東京大学)で7年間(1896～1903)英米文学を教えました。

小泉先生に対する学生たちからの評価は絶大で、後任の夏目漱石が授業をボイコットされるほどでした。

いったいどのような授業を行っていたのでしょうか?その人気の秘密を探ってみましょう。

日時 : 6/27(土) 14:00～15:30

場所 : あかし市民図書館 研修室

講師 : はせがわ ひろき 長谷川 弘基 氏(神戸学院大学 人文学部教授)

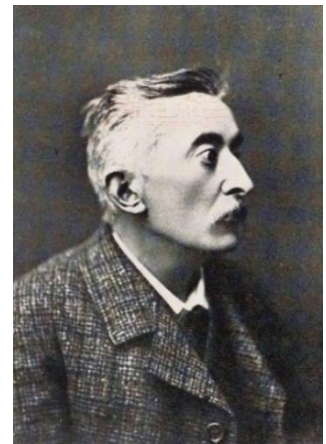
対象 : どなたでも(内容は大人向け)

定員 : 30名

申込 : 6/6(土) より窓口・電話・FAX で受付(先着順)

(イベント名・イベント日時・開催館・氏名・あれば利用者カード番号・返信用 FAX 番号
を記入)(開館時間中以外無効)

共催 : 神戸学院大学地域研究センター



小泉八雲

出典:国立国会図書館「近代日本人の肖像」

(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)